

第一中学校区小中一貫グランドデザイン

須賀川市の小中一貫教育のねらい

- 9年間での段階的・着実な実践
- 小・中相互の学習状況に応じた効果的な指導
- 小中交流研修等による教員の専門性の向上
- 総合的な学習の時間等における連続性のある指導
- 学習活動や行事等の交流による相乗効果

9年間を通して求める児童・生徒像

「自他を尊重し、夢や目標の実現に向かって努力する子ども」

- 【豊かな心】
 - ・ 気持ちのよいあいさつができる子ども
 - ・ 時、場、目的に応じたけじめのある言動ができる子ども
 - ・ 自他を認め、声をかけあい、高め合う子ども
- 【確かな学力】
 - ・ 基礎的・基本的事項を身につけている子ども
 - ・ 教科の特性に応じた学び方を身につけている子ども
 - ・ 自ら考え友だちと学び合い、探究する子ども
- 【健やかな心と体】
 - ・ 健全な生活習慣を身につけている子ども
 - ・ 望ましい食生活に関心を持ち、体力向上に向けて努力する子ども



小中一貫教育で期待される効果

- 小中学校の教員が、授業研究会や学校評議員会を合同で行うことによって、子どもの学力や生活の状況の変化を、長期に渡ってつかめる。
- 中学生の上級生としての自覚が育つ。
- 小学生の中学校への抵抗が減ることによる不登校問題、中一ギャップの改善が図られる。
- 9年間を見通した組織的、継続的な生徒指導が展開される。

確かな学力

【共通指導事項】 ○学習意欲を高める

- 「学習規律の徹底・家庭学習の習慣化・基礎基本の定着」
- ◆ 授業スタンダード、家庭学習スタンダードを生かした、学びに向かう姿勢を養うとともに、9年間を見通したカリキュラムによる学習指導の推進
 - ・ 学習内容のつながり、指導の一貫性を大切にします。
 - ◆ 一小一中一貫授業研究会
 - ・ 小中全職員で授業を公開し合い、協同的な学びを生かした授業づくりを進めます。
 - ◆ 家庭学習・読書活動の充実
 - ・ 家庭学習と連携した授業づくりを進めます。

豊かな心

【共通指導事項】 ○豊かな人間性・社会性を育てる

- 「規範意識の高揚、絆づくりの推進」
- ◆ 心に響く特別の教科「道徳」の実施
 - ・ 「共に生きる社会」の授業実践と、教育活動全体を通じ、9年間に渡って道徳教育を充実させます。
 - ◆ あいさつの広がり
 - ・ 中学生が小学生に、小学生が中学生にお互いのあいさつを通して心の交流を進めます。
 - ◆ 正しい言葉づかいの実践
 - ・ コミュニケーションのベースとなる言葉づかいの指導を通して人間関係の醸成を図ります。

健やかな心と体

【共通実践事項】 ○健全な生活習慣を身につけ、体力を高める

- 「体力・運動能力の向上や生活習慣の改善」
- ◆ 小中で連携した体力づくりの実施
 - ・ 授業改善や環境整備に努め、体力の向上に努めます。
 - ◆ PTAとの連携による地域一帯での子どもの育成
 - ・ 早寝・早起き・朝ごはんを進めます。
 - ・ メディアコントロールデーを進めます。
 - ・ 一小一中の子どもを育てる会を生かし、児童生徒の安全確保と、健全育成を図ります。
 - ◆ あきらめずに努力する子どもの育成
 - ・ 規則正しい生活習慣づくりと日常的な運動の経験を通して、努力の大切さや忍耐力を育てます。

【学びの連携】

- 2回の授業研究会の共催、小中教員の交流研修、中学校教員の小学校サポート授業等を通して授業の質を高めるとともに、小中の連続性を意識した授業の実践に努めます。
- 小中全職員が9年間を見通した「一小一中の各教科のカリキュラム」を活用し、指導に生かします。
- 総合的な学習の時間の交流学习(松明あかし)を行います。
- 「学び合い」・「協同的な学び」を生かした授業づくりを行います。
- 学習訓練の徹底を図ります。
- 学年に応じた家庭学習時間を設定し、8割以上の達成をめざします。
- 学年に応じた読書冊数を設定し、8割以上の達成をめざします。

【生活面の連携】

- 児童生徒の生徒指導、体験交流連携について定期的に話し合い、課題解決を目指します。
- 特別の教科「道徳」の時間を要し、学校教育全体を通じて豊かな心の育成を図ります。
- 小中一貫サポート授業等で、中学校教員の専門性を生かした指導を行います。
- 縦割り活動のよさを生かした活動の充実を図ります。(清掃、児童会・生徒会活動)

【家庭・地域との連携】

- ふるさとを学ぶ体験活動を通して、わがまち須賀川のよさや伝統を味わわせます。
- 各学年で地域人材を活用した授業に取り組みます。
- 学校HPや各種通信により、学校の様子をタイミングよく知らせます。
- 家庭との連携・協力により、朝ごはん摂取率100%の達成、肥満傾向児童生徒の解消をめざします。
- 情報機器利用について、学校と家庭が協力し、スマートフォン、SNS等のトラブルの未然防止とネット・ゲーム依存にならないように指導します。

	前期 (基礎構築期)				中期 (協働実践期)			後期 (自己実現期)	
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
確かな学力	●学習規律の定着と基礎的・基本的な事項の習熟				●身につけた力の活用と論理的の思考の育成			●自ら学ぶ態度と他と関わり合った課題追究力の育成	
豊かな心	●自他の尊重と規範意識の育成				●自ら考え判断し行動する能力の育成			●下級生の模範となる高い意識・実践力の育成	
健康な心と体	●基本的な生活習慣の定着と運動への意識の向上				●望ましい運動習慣・生活習慣の確立			●自らの課題を自覚し、改善する能力の育成	

小中の接続を円滑化・充実させる取組(活動実践期)

- 小中一貫授業研究会の実施(春・秋の2回)
- 小・中教職員間で児童生徒の課題と課題解決のための手立てなどの共有
- 中学校体験入学(授業・部活動体験)、保護者入学説明会、松明あかし製作見学などのふるさとを学ぶ体験学習
- 小中一貫サポート授業の実施